

映画上映会 & トーク

MOVIE SHOWING

and

DISCUSSION

インド系アメリカ人・ラヴィの婚活！

監督と主演俳優が上映後にトーク



ミート・ザ・パテル

2016.7.27 (水)

18時半～21時

開場18:00, 上映18:30, トーク20:10

参加無料

申込: 727patels@gmail.com*

北翔大学

北方圏学術情報センター

ポルトホール

(札幌市中央区南1条西22丁目1番1号)*

トーク

監督兼俳優ラヴィ・パテル

監督ギータ・パテル

*要領は裏面をご覧ください。

主催: 在札幌米国総領事館

共催: 北翔大学・北翔大学短期大学部

協力: American Film Showcase

後援: 札幌市、札幌市教育委員会



異なる文化圏の恋人との結婚に迷うとき・・・あなたならどうする？

申込について：

事前申込先アドレス 727patels@gmail.com

※参加代表者の氏名と参加者人数をご記入され、前日まで
に上記アドレスへお申込ください

※空席があれば当日参加することも可能です。直接会場に
お越しください。

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

ポルトホールについて：



北方圏学術情報センター ポルトホール

札幌市中央区南1条西22丁目1番1号

※地下鉄東西線「西18丁目駅」1番出口より徒歩7分

※会場に来場者用駐車場はありません。公共交通機関でお
越しください。



インドでは、結婚相手探しは一族をあげての大事業。ラヴィは両親の薦めで、インドやアメリカ各地で、お見合いや婚活パーティに参加します。ラヴィは結婚相手を探す過程で、特別な文化や宗教的な背景を持つアメリカ人の多くが、文化、宗教、肌の色が違う相手との交際や結婚において深い心理的な葛藤を感じることに気がつきます。結婚相手探しに奮闘する主人公のラヴィに共感したり、個性あふれる登場人物のユーモラスなやりとりにも笑いながらも、異なる文化が常に共存するアメリカ社会について深く考えさせられる作品です。

ラヴィの姉でドキュメンタリー映像作家のギータ・パテルが撮影し監督しました。ラヴィ自身も共同監督として参加しています。

映画上映のあとは、ギータとラヴィ本人によるお話と質疑応答も予定しております。皆様のお越しをお待ちしています！

AMERICAN
FILM
SHOWCASE

ラヴィ・V・パテル 映画監督、俳優

自身が出演するロマンチック・コメディの本作品“Meet the Patels”が初監督作である。ラヴィ出演の代表作は、テレビシリーズScrubs：恋のお騒がせ病棟（原題：Scrubs）、トランスフォーマー（原題：Transformers）など。

俳優業のほか、健康、ウェルネス、社会事業立ち上げなどを主とした投資グループも運営している。2013年には、俳優仲間とThis Bar Saves Livesを共同で設立し、グラノーラ・バーの売上金を飢餓に苦しむ子供たちに寄付をしている。

エンターテインメント業界に入る前は、インベストメントバンカーとして勤務し、のちにボーカー専門誌ALL INを創刊。ノースカロライナ大学を経済学、国際関係学のダブルメジャーで卒業。

アメリカンフットボールチームのシカゴ・ベアーズの大ファン。

ギータ・V・パテル 映画監督

ギータ・パテルは情熱的かつ、非伝統的なスタイルで、ドキュメンタリーとドラマを融合させた人物として知られている。グラント・ヒル（マトリックス、ツリーオブライフの製作者）製作の次回上映予定のフィルムMouseでは、脚本と監督を兼任する。

本作品“Meet the Patels”では監督を務め、数多くの賞を受賞した。この作品は、アカデミー賞受賞者のジェラルン・ドレイファウス（Geraldyn Dreyfous）が、エグゼクティブ・プロデューサーを務めた。

パキスタン系ムスリムとインド系ヒンズー教徒のアメリカ人の友人同士が2つの異なった視点から戦争を描くドキュメンタリー映画、Project Kashmirで監督デビューを飾り、Sundance and Tribecaのフェローシップを取る。またテレビでは脚本家のアシスタントとして働き、そののちアソシエイト・スクリーンライターとして、ユニバーサルピクチャー、ABC、NBC、20世紀フォックスの脚本製作に加わる。デューク大学で比較地域研究を専攻し、ベルリン留学中に会ったAnthony Minghellaの朗読に影響を受ける。オバマ大統領に選ばれた29人の映画製作者代表団の一員として、ベラルーシとトルコを訪れる。

